

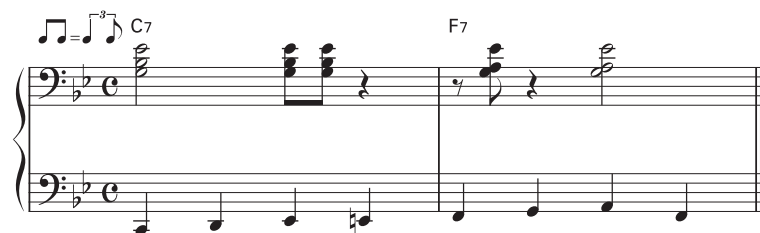
ブルースを弾くならまずはバックিং！ これさえできればひと安心です。毎日の2小節ずつのパーツを繋げていけば、1週間でB^bのブルースがマスターできます。ジャズでセッションする時には、必ず知っておきたい定番が、ブルースのコード進行です。覚えておくと、いろいろなシーンで活用できること間違いなしでしょう！

check!



check!

124
365



終盤へ向かう

Track 127

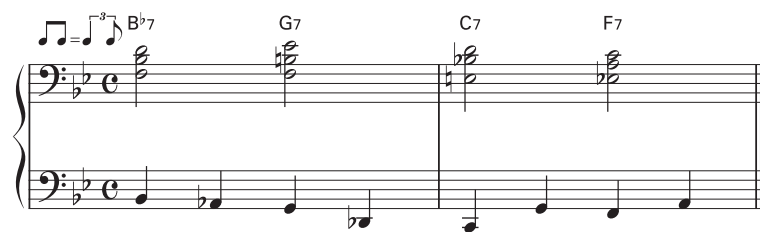
♩=120

折り返し地点を過ぎたので、アドリブもまともに入るあたりです。



check!

125
365



ブルースの醍醐味を味わう

Track 128

♩=120

ここがブルース進行の肝です。月曜日から金曜日を何度もリピートして、ブルース進行の一連の流れを感じてみてください。



check!

126
365



ブルースのエンディング

Track 129

♩=120

月曜日から金曜日までがブルース進行の特徴的な12小節のまとまりです。何度もリピート可能になっていますが、終わりたい時はこのエンディングで締めましょう。



ブルース進行とセッションについて

ブルース進行で使用するコードや進行にはルールがあります。3種類のコードの組み合わせによる12小節のまとまりが、ブルース進行です。特に意識しなくても、この進行が身体に馴染むまで練習してみてください。これを身体に馴染ませてからジャズのセッション現場に行けば、弾いても聴いても、楽しめるでしょう。

◎覚えておきたい！セッション時のルール

1. キーを決める (B^b、C、F、A などがあります)
2. リズムを決める (4ビートかシャッフルか、など)
3. テンポを決める
4. 何回くらい繰り返すかを決める (事前に決めておく場合と、その時の気分で決めてOKな場合がある)
5. 合図を決める (ソロやエンディングの入り方など)